

熊本市女性の活躍推進事業【熊本市】

地域の実情と課題

- ・熊本地震からの力強い復興に向け、これまで以上に女性が安心して働き続けられるよう、女性が希望する場で能力を発揮し活躍できる職場環境の整備等が求められている。
- ・しかし、市内企業のワーク・ライフ・バランスやポジティブ・アクションへの取組みは依然として遅れている状況。
- ・特に中小企業等において、女性のロールモデルやメンターとなる人材が職場にいないことが多いため、キャリア形成について積極性を持てなかったり、役職への登用を躊躇する等も見受けられる。

事業の特徴

熊本連携中枢都市圏自治体を中心に県内全市町村にも積極的に情報提供を行なった結果、「女性活躍に向けた事例発表会」では市外からも参加があり、本市域にとどまらず広く働く女性のモチベーション向上や意識改革に寄与することができた。

「企業意識・実態調査」では現在の本市内各企業の女性活躍に対する取組状況を把握するとともに、調査を実施することで企業側に対する啓発にもつながった。また、今後の施策について検討する際の基礎資料として活用できる統計資料を得ることができた。

事業の効果

幅広い職種や世代から参加があり、働く女性同士のネットワーク形成、ロールモデルの共有が図られた

※参考【女性活躍に向けた事例発表会】参加者アンケート

【第1部】 基調講演	「満足」47.6%、「やや満足」47.6%	計95.2%
【第2部】 事例発表	「満足」47.5%、「やや満足」49.2%	計96.7%

目的・目標

【目的】

企業・事業所等における女性人材の登用促進やワーク・ライフ・バランスの推進に向けた機運の醸成、及び働く女性のキャリア形成を支援し、女性の活躍促進をこれまで以上に加速化させることを目的とする。

【目標】（※本市が実施している企業意識・実態調査の結果に基づく）

- ・5年前と比べて女性の管理職登用率
18.1%（平成26年度） → 20%（平成30年度）
- ・各種セミナー参加者の満足度 80%以上

連携団体

- 熊本県及び県内各市町村（熊本連携中枢都市圏構成市町村）
- 地元各経済団体等
- 熊本市男女共同参画センターはあもにい 等

今後の課題

企業意識・実態調査によると、女性の課長・部長クラスの管理職への登用状況は19.2%となっており、アウトカムとして設定している目標値20%にわずかに届いていない状況であった。しかしながら、女性の採用拡大や積極的な登用に取り組んだと回答した企業が増加していることから、今後も事業の効果が上がるよう継続的に取り組みを進めることで目標値の達成ができるものと考える。

「女性活躍に向けた事例発表会」に参加することで、企業を含め参加者のモチベーションの向上や参加者個人のネットワークづくり、地域としての機運醸成には一定の効果があつた。現在、発表会の資料や一部発表を本市ホームページで公開しており、今後は、女性活躍に向けた取組（好事例）を広く共有することで、さらなる機運醸成を図ってまいりたい。また、引き続き本市男女共同参画センターはあもにいや女性の活躍応援協議会くまもとの構成団体等とも連携しながら、女性の活躍推進に取り組んでいきたい

事業の概要

(1) 女性活躍に向けた事例発表会

開催日時	令和3年1月22日（金） 13:30～17:00
会場	熊本市男女共同参画センター はあもにい ※無観客・オンライン配信
参加者数	117名

就労中の女性（就労を希望する女性含む）同士の交流により、ネットワークの形成や女性ロールモデルの共有を図り、地域全体における女性の活躍推進に向けた気運を醸成することを目的とした講演会及び交流会を実施

【プログラム】

●第1部 基調講演

実施内容

演題：「経営戦略としての女性活躍～女性管理職を増やすには～」

講師： 布川 裕子さん（一般財団法人 女性労働協会 専務理事）

●第2部 事例発表会

女性活躍企業3社

情報提供 熊本労働局雇用環境・均等室

女性グループによるアイデア発表（3団体）

熊本市女性の活躍推進事業

参加 無料

女性活躍に向けた事例発表会

もっと輝く 元気になる

女性活躍 in 熊本

活き活きと働き、輝く女性たち。女性の能力を引き出し、躍進する企業の取組や、バイタリティ溢れる女性の取組を聞いてみませんか。熊本を、もっと元気に！

日付 2021.1.22（金） 13:30～17:00
(13:00開場)

場所 熊本市男女共同参画センター
はあもにい メインホール
(中央区高麗3-3-10)

託児 一歳半から未就学児 10名まで
1月12日(火)までに
要予約・先着順・無料

会場参加
100名(先着順)
※お子様連れでの参加が可能です。

定員
インターネット聴講
100名(先着順)

第一部 基調講演

「経営戦略としての女性活躍
～女性管理職を増やすには～」



布川 裕子
(一般財団法人女性労働協会 専務理事)

1984年旧労働省入省。主に雇用均等行政に携わり、厚生労働本省及び労働局雇用均等室において男女雇用均等法、育児・介護休業法、女性活躍推進法等の施行に携わる。その間、内閣府男女共同参画局に出向し、男女共同参画白書の執筆、女性に対する暴力防止対策等を担当したほか、ILOアジア太平洋総局において女性のための貧困削減プロジェクトにも携わる。2019年3月退職。同年7月から現職。

第二部

1. 女性活躍企業の事例発表

九州産業交通ホールディングス株式会社
退職後、10年間の再就労制度。時間短縮勤務等の制度で対象となる子どもの年齢を拡大。

医療法人社団に誠会
ワークライフバランスガイドブックを作成し、同立支援を推進。「プラチナくるみん」、「プライト企業」に認定。

株式会社えがお
小学生の夏休み期間中に、社内学童保育「えがお学童」を実施。子育てをしながら安心して働ける環境を整備。

他にもまだまだたくさんの取り組みが♪

2. 女性グループによるアイデア発表

熊本で輝く女性たちの取組やアイデアを発表！

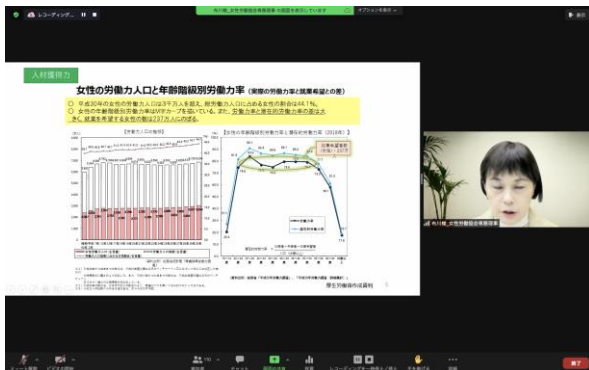
お問合せ・お申込みは TEL 096-288-3553 FAX 096-288-3556

実施主体 株式会社きらり・コーポレーション

主催 熊本市 男女共同参画課

お申込み開始日
2020.12.21（月）





講演中の様子（基調講演：ZOOM画面）



講演中の会場の様子（無観客）



終了後の記念撮影の様子

事業の概要

(2) 男女共同参画社会の実現に向けた企業意識・実態調査

調査実施期間	令和2年（2020年）11月5日～12月10日
対象事業所	1,200事業所 (本市域内の従業員5名以上の事業所を無作為抽出)
回答事業所数	369事業所（回収率33.2%）
実施内容	本市域内の事業所における女性の登用状況、育児・介護休業制度の整備とその利用状況等の実態を把握し、今後の女性活躍推進施策を検討する際の基礎資料とするため、企業・事業所等に対しアンケート調査を実施した。 【主な調査項目】 ・女性管理職の登用数や登用率 ・ポジティブアクションへの取り組み状況 ・ポジティブアクションへ取り組むことの効果や課題 ・ワークライフバランスの認知度や取り組み状況、課題 ・男性の育児休業取得率 ・改正育児・介護休業法への対応状況 等